

学位授与の方針（学部）

大学の学位授与の方針

大同大学の学士の学位は、以下の4つの力を備えた者に授与する。

- a. 社会人として活動するために必要な基礎的な能力を身につけている
健全な倫理観に基づき、規律性をもって主体的にかつ目標を定めて行動する力、現状を分析して目的や課題を明らかにする力、コミュニケーションを通じて他者と協働する力を身につけている。
- b. 豊かな教養を身につけている
教養ある社会人に必要な文化・社会や自然・生命に関する一般的知識を身につけ、異なる思考様式を理解する態度が備わっている。
- c. 確かな専門性を身につけている
自らの専門分野の基礎から応用までの理論・概念や方法論に関する知識を身につけ、当該分野の情報・データを論理的に分析し、問題解決のために応用できる。
- d. 豊かな創造力を身につけている
獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自由な発想の下、独自に工夫・応用し、新たな知見を創造する力が備わっている。

各学科・専攻の学位授与の方針

| 学科・専攻 | 学位授与の方針 |
|---------|---|
| 機械工学科 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語の習得に積極的に取り組み、英語力を向上させ、基礎的なコミュニケーションを行うことができる。 2. 外国語学習を通して異文化に関する理解を深め、国際社会に対応できる素養を身につけることができる。 3. 規律ある生活を維持し、心身の健康管理を心がけ、大学における学習生活の基礎を身につけている。 4. 豊かな人間性と心の問題について幅広い知見を有し、自律的かつ柔軟に考えることができる。 5. 市民社会の一員として、社会科学の基礎知識に基づき、価値観の多様性を踏まえた適切な行動が選択できる。 6. 自然科学的、数理的なものを見方を通じて、日常生活において良識ある判断を下すことができる。 7. 現代社会の問題群を多角的にとらえ、コミュニケーションをとりながら問題解決に当たることができる。 8. 工学の基礎として数学、自然科学を活用することができる。 9. 機械工学の専門分野の基礎的な理論・概念に関する知識を身につけている。 10. 機械工学の専門分野の高度な理論・概念に関する知識を身につけている。 11. 機械工学の専門分野の方法論に関する知識を身につけている。 12. 機械工学の専門分野の情報・データを理論的に分析し、問題解決のために応用できる。 13. 自由な発想のもと、新たな知見を想像する力が備わっている。 14. 獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自由な発想のもと、独自に工夫・応用し、新たな知見を想像する力が備わっている。 |
| 総合機械工学科 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語の習得に積極的に取り組み、英語力を向上させ、基礎的なコミュニケーションを行うことができる。 2. 外国語学習を通して異文化に関する理解を深め、国際社会に対応できる素養を身につけることができる。 3. 規律ある生活を維持し、心身の健康管理を心がけ、大学における学習生活の基礎を身につけている。 4. 豊かな人間性と心の問題について幅広い知見を有し、自律的かつ柔軟に考えることができる。 5. 市民社会の一員として、社会科学の基礎知識に基づき、価値観の多様性を踏まえた適切な行動が選択できる。 6. 自然科学的、数理的なものを見方を通じて、日常生活において良識ある判断を下すことができる。 7. 現代社会の問題群を多角的にとらえ、コミュニケーションをとりながら問題解決に当たることができる。 8. 工学の基礎として数学、自然科学を活用することができる。 9. 工学の基礎となる数学、力学などを通して、機械工学の諸現象を論理的に考察し理解する能力を身につけている。 10. 実社会で活躍しているエネルギーシステム、航空宇宙システム、自動車システム、ロボットシステムなどを学習し、幅広い機械システム技術を理解する能力を身につけている。 11. 機械システムやロボットシステムの設計・解析・生産などのものづくり技術を学習し、これらをコンピュータを応用して行うための技術を理解する能力を身につけている。 12. エレクトロニクスの知識を持ち、メカトロニクス機器の開発技術を理解する能力を身につけている。 13. コンピュータのプログラムによる機械制御技術を理解する能力を身につけている。 14. 広い視野に立って課題を自ら発見し、実験、実習などの実践を通じて、これらの工学課題を設定・遂行・解決する能力を身につけている。 15. 技術者として工学の諸分野に対する興味関心と主体的に目標を定めて行動する力を持ち、また、コミュニケーションを通じて他者と協働する力を身につけている。 16. ものづくり産業に必要な文化・社会に関する一般的知識を身につけ、これらを活用するための技術を理解する能力を身につけている。 |
| 電気電子工学科 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語の習得に積極的に取り組み、英語力を向上させ、基礎的なコミュニケーションを行うことができる。 2. 外国語学習を通して異文化に関する理解を深め、国際社会に対応できる素養を身につけることができる。 3. 規律ある生活を維持し、心身の健康管理を心がけ、大学における学習生活の基礎を身につけている。 4. 豊かな人間性と心の問題について幅広い知見を有し、自律的かつ柔軟に考えることができる。 5. 市民社会の一員として、社会科学の基礎知識に基づき、価値観の多様性を踏まえた適切な行動が選択できる。 6. 自然科学的、数理的なものを見方を通じて、日常生活において良識ある判断を下すことができる。 7. 現代社会の問題群を多角的にとらえ、コミュニケーションをとりながら問題解決に当たることができる。 8. 工学の基礎として数学、自然科学を活用することができる。 |

| | | |
|------|-------------|--|
| | | <p>9. 基礎学力としての数学を身に付け、電気電子工学分野に応用できる。</p> <p>10. 電気電子工学分野の基幹科目に関する知識を身に付けている。</p> <p>11. 実験や設計・演習を通じて専門分野の知識に関する理解を深めるとともに、課題探求能力を身に付けている。</p> <p>12. 現代社会を支える電気エネルギーの発生から利用までを理解している。</p> <p>13. 電気エネルギーの利用や供給の分野で、装置、機械器具等の設計や開発を行うことができる。</p> <p>14. ロボット、電気自動車、電気エネルギー分野に利用されているパワーエレクトロニクス及びコンピュータ制御技術について理解している。</p> <p>15. コンピュータのプログラミングと電子回路設計・製作ができる。</p> <p>16. 材料の物性及びデバイスの動作原理を理解している。</p> <p>17. エレクトロニクス用デバイスの機能とその応用における基礎技術を理解している。</p> <p>18. 課題解決のために、実験を計画・実行し、解析・考察し、自分の論点や考え方についてわかり易く、論理的に発表できる。</p> <p>19. 電気電子工学における先端技術に興味・関心を持ち、その本質を見極めることができる。</p> |
| 建築学科 | 建築専攻 | <p>1. 英語の習得に積極的に取り組み、英語力を向上させ、基礎的なコミュニケーションを行うことができる。</p> <p>2. 外国語学習を通して異文化に関する理解を深め、国際社会に対応できる素養を身につけることができる。</p> <p>3. 規律ある生活を維持し、心身の健康管理を心がけ、大学における学習生活の基礎を身につけている。</p> <p>4. 豊かな人間性と心の問題について幅広い知見を有し、自律的かつ柔軟に考えることができる。</p> <p>5. 市民社会の一員として、社会科学の基礎知識に基づき、価値観の多様性を踏まえた適切な行動が選択できる。</p> <p>6. 自然科学的、数理的なものの見方を通じて、日常生活において良識ある判断を下すことができる。</p> <p>7. 現代社会の問題群を多角的にとらえ、コミュニケーションをとりながら問題解決に当たることができる。</p> <p>8. 工学の基礎として数学、自然科学を活用することができる。</p> <p>9. 荷重や、建築物がそれを支える仕組みを理解し、地震などの自然界の脅威に抵抗し、機能の保全と安全性の確保を満たしうる設計ができる。</p> <p>10. 材料の性質を理解し、地球環境に配慮した建築物の品質・耐久性・経済性を満足する適切な材料の選択および施工方法を考えることができる。</p> <p>11. 建築の設計を理解し、必要な知識体系を身につけている。</p> <p>12. 建築造形の基礎を身に付け、建築デザインの論理を理解している。さらに文化遺産としての建築の価値を歴史的背景と共に理解している。</p> <p>13. 快適な環境作りと環境問題への対処のために、建築環境工学諸分野の原理と実践を理解し、あわせて建築設備を適切に活用できる。</p> <p>14. 持続可能な社会システムのあり方を理解し、環境負荷の低減や、時間軸を考慮した付加価値の創出、建築文化の継承を行うための手法を身につけている。</p> <p>15. 諸技術を総合し、情熱をもって「ものづくり」に取り組むことができる。</p> <p>16. 状況に応じて知識を多角的に展開させることができる。</p> <p>17. 技術的課題に対して誠実かつ真摯な態度で臨むことができる。</p> <p>18. 地域社会のなかで信頼を得ながら技術を適用していくことができる。</p> |
| | インテリアデザイン専攻 | <p>1. 英語の習得に積極的に取り組み、英語力を向上させ、基礎的なコミュニケーションを行うことができる。</p> <p>2. 外国語学習を通して異文化に関する理解を深め、国際社会に対応できる素養を身につけることができる。</p> <p>3. 規律ある生活を維持し、心身の健康管理を心がけ、大学における学習生活の基礎を身につけている。</p> <p>4. 豊かな人間性と心の問題について幅広い知見を有し、自律的かつ柔軟に考えることができる。</p> <p>5. 市民社会の一員として、社会科学の基礎知識に基づき、価値観の多様性を踏まえた適切な行動が選択できる。</p> <p>6. 自然科学的、数理的なものの見方を通じて、日常生活において良識ある判断を下すことができる。</p> <p>7. 現代社会の問題群を多角的にとらえ、コミュニケーションをとりながら問題解決に当たることができる。</p> <p>8. 工学の基礎として数学、自然科学を活用することができる。</p> <p>9. 力に対して必要な強度を有する安定した構造の仕組みや形を理解し、空間を構成する要素の機能や安全性を確保できる。</p> <p>10. 材料の性質を理解し、地球環境に配慮した建築物の品質・耐久性・経済性を満足する適切な材料の選択および施工方法を考えることができる。</p> <p>11. インテリアの設計を理解し、必要な知識体系を身につけている。</p> <p>12. 室内造形の基礎を身に付け、建築デザインの論理を理解している。さらに文化遺産としての建築の価値を歴史的背景と共に理解している。</p> <p>13. 快適な環境作りと環境問題への対処のために、建築環境工学諸分野の原理と実践を理解し、あわせて建築設備を適切に活用できる。</p> <p>14. 諸技術を総合し、情熱をもって「ものづくり」に取り組むことができる。</p> <p>15. 状況に応じて知識を多角的に展開させることができる。</p> <p>16. 技術的課題に対して誠実かつ真摯な態度で臨むことができる。</p> |
| | 土木・環境専攻 | <p>1. 英語の習得に積極的に取り組み、英語力を向上させ、基礎的なコミュニケーションを行うことができる。</p> <p>2. 外国語学習を通して異文化に関する理解を深め、国際社会に対応できる素養を身につけることができる。</p> <p>3. 規律ある生活を維持し、心身の健康管理を心がけ、大学における学習生活の基礎を身につけている。</p> <p>4. 豊かな人間性と心の問題について幅広い知見を有し、自律的かつ柔軟に考えることができる。</p> <p>5. 市民社会の一員として、社会科学の基礎知識に基づき、価値観の多様性を踏まえた適切な行動が選択できる。</p> <p>6. 自然科学的、数理的なものの見方を通じて、日常生活において良識ある判断を下すことができる。</p> <p>7. 現代社会の問題群を多角的にとらえ、コミュニケーションをとりながら問題解決に当たることができる。</p> <p>8. 工学の基礎として数学、自然科学を活用することができる。</p> <p>9. 社会基盤に携わる技術者として必要な土木の3つの力学（構造・水理・土質）の基礎を身につけている。</p> <p>10. 社会基盤整備の計画・調査・設計・施工等に必要となる主要分野に関する識を専門知識につけている。</p> <p>11. 実験・測量等調査におけるデータを正確に分析し、論理的に考察することができる。</p> <p>12. 技術者に必要な汎用的な情報処理能力に加え、社会基盤整備の実践に関わる情報活用能力を身につけている。</p> <p>13. 多様で複雑な状況を、確かな教養と専門知識に基づいて正しく整理するとともに、倫理観を持ち主体的に思考することで、都市基盤整備における新たな提案・価値を創造することができる。</p> |

| | | |
|----------|-----------|--|
| 情報システム学科 | 専攻共通 | <ol style="list-style-type: none"> 英語の習得に積極的に取り組み、英語力を向上させ、基礎的なコミュニケーションを行うことができる。 外国語学習を通して異文化に関する理解を深め、国際社会に対応できる素養を身につけることができる。 規律ある生活を維持し、心身の健康管理を心がけ、大学における学習生活の基礎を身につけている。 豊かな人間性と心の問題について幅広い知見を有し、自律的かつ柔軟に考えることができる。 市民社会の一員として、社会科学の基礎知識に基づき、価値観の多様性を踏まえた適切な行動が選択できる。 自然科学的、数理的なものの見方を通じて、日常生活において良識ある判断を下すことができる。 現代社会の問題群を多角的にとらえ、コミュニケーションをとりながら問題解決に当たることができる。 情報学の基礎として数学、自然科学を活用することができる。 情報学分野における基礎理論を理解し自らの問題に応用できる 情報学分野の専門知識と理論を理解し他者と深く議論できる 実験・実習を通して理論と現象を結びつけて分析・理解・説明できる 課題解決に必要なツールを探索し使いこなし自らのスキルを向上できる 研究的活動も含め、実験・実習を通して問題発見・課題解決できる |
| 情報デザイン学科 | 専攻共通 | <ol style="list-style-type: none"> 英語の習得に積極的に取り組み、英語力を向上させ、基礎的なコミュニケーションを行うことができる。 外国語学習を通して異文化に関する理解を深め、国際社会に対応できる素養を身につけることができる。 規律ある生活を維持し、心身の健康管理を心がけ、大学における学習生活の基礎を身につけている。 豊かな人間性と心の問題について幅広い知見を有し、自律的かつ柔軟に考えることができる。 市民社会の一員として、社会科学の基礎知識に基づき、価値観の多様性を踏まえた適切な行動が選択できる。 自然科学的、数理的なものの見方を通じて、日常生活において良識ある判断を下すことができる。 現代社会の問題群を多角的にとらえ、コミュニケーションをとりながら問題解決に当たることができる。 知とスキル(学芸技能)を高めていく主体的な学習態度が備わり、目標実現のために行動できる。 他者と協調・協働して、情報化社会にふさわしい倫理観を持って、適切にコミュニケーションできる。 状況を察知して、調査・分析し、他者・社会の目的を理解し、解決すべき課題を見つけることができる。 感性および論理性を養い、新たな価値が創造されるような企画、発案ができる。 形、音、色彩、広告、ことば、コンピュータ、材料など広くデザインに関する知識を身につけている。 表現・制作目標に向けて出したアイデアを効果的に使用したり、組み立てたりすることができる。 グラフィック、サウンド、映像、CADなどのソフトウェアの操作法、ならびにプレゼンテーション、制作、加工方法に習熟している。 学んだことを総合的に用いて実践的な表現・制作ができる。 |
| 総合情報学科 | 経営情報専攻 | <ol style="list-style-type: none"> 英語の習得に積極的に取り組み、英語力を向上させ、基礎的なコミュニケーションを行うことができる。 外国語学習を通して異文化に関する理解を深め、国際社会に対応できる素養を身につけることができる。 規律ある生活を維持し、心身の健康管理を心がけ、大学における学習生活の基礎を身につけている。 豊かな人間性と心の問題について幅広い知見を有し、自律的かつ柔軟に考えることができる。 市民社会の一員として、社会科学の基礎知識に基づき、価値観の多様性を踏まえた適切な行動が選択できる。 自然科学的、数理的なものの見方を通じて、日常生活において良識ある判断を下すことができる。 現代社会の問題群を多角的にとらえ、コミュニケーションをとりながら問題解決に当たることができる。 幅広い教養と専門知識を実践に生かし、企業社会の中で自ら主体的に問題解決を行い経営の現場で活躍できる素養を身につけている。 企業経営活動において、指導力・統率力を発揮し、ビジネス・リーダーになれる素養を身につけている。 人材の育成や管理に関する専門知識と実習経験を生かし、全社的な観点から優れたマネジメントを行う経営者となりえる素養を身につけている。 生産や物流に関する専門知識を生かし、製造業やサービス業の発展に貢献できる素養を身につけている。 会計に関する専門知識と実務能力を持って起業し、社会に貢献できる素養を身につけている。 情報の管理に関する実技・技能を備え、マネジメント能力を地域活性化などあらゆる社会活動の面で役立てられる素養を身につけている。 |
| | かおりデザイン専攻 | <ol style="list-style-type: none"> 英語の習得に積極的に取り組み、英語力を向上させ、基礎的なコミュニケーションを行うことができる。 外国語学習を通して異文化に関する理解を深め、国際社会に対応できる素養を身につけることができる。 規律ある生活を維持し、心身の健康管理を心がけ、大学における学習生活の基礎を身につけている。 豊かな人間性と心の問題について幅広い知見を有し、自律的かつ柔軟に考えることができる。 市民社会の一員として、社会科学の基礎知識に基づき、価値観の多様性を踏まえた適切な行動が選択できる。 自然科学的、数理的なものの見方を通じて、日常生活において良識ある判断を下すことができる。 現代社会の問題群を多角的にとらえ、コミュニケーションをとりながら問題解決に当たることができる。 嗅覚の特性に関する知識があり、基本的なおい・かおりの測定・評価ができる。 におい・かおりの特性に関する知識があり、有効な臭気対策が提案できる。 におい・かおりの化学、香料の成分に関する知識があり、かおりの特性を踏まえた適切なかおりを調香できる。 におい・かおりの特性、人の心と身体、人とかおりの関係に関する基礎知識があり、その時々で適切なかおりを選定し、活用方法を提案できる。 生活環境要素に関する基礎知識があり、におい・かおりの要素を取り入れた快適な生活環境を創造できる。 論点を的確に捉え、必要な調査・実験データ、情報を収集し、そのデータを理論的に分析し、課題を解決することができ、客観的なデータに基づく自らの考えを分かりやすく伝えることができる。 |